

情報支援プロボノ・プラットフォーム 設立趣旨

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の惨禍を広範な人と地域にもたらしました。そして、その直後より、被災地・被災者に対するさまざまな支援・復旧活動が展開されてきています。

私たち情報通信技術(ICT)に関係する者は、この支援・救援活動および復旧・復興活動を効果的に推進するには、被災地・被災者のニーズとそれら支援・復旧活動とをつなぐ、情報の多様なプラットフォームが不可欠であると確信しています。

そこで、私たちは、自らのプロフェッショナルな知識と経験、技能、資源を持ち寄り、多様な情報プラットフォームの構築・運用を目指して、「情報支援プロボノ・プラットフォーム」(略称、iSPPP)を設立いたします。

当面は、被災された皆様の困難な状況を少しでも緩和する活動に注力します。それと並行して、被害の実態の記録・保存や、災害時の情報行動の調査なども実施していきます。さらに、阪神・淡路大震災や新潟県中越地震など我が国のこれまでの大災害の教訓との照合・継承や、国際的な災害対応活動との連携・協力、災害発生の緊急時でも機能するシステムの構築およびマネジメントの提案、災害支援・復旧・復興に関する日本の知見およびシステム等の国際社会への積極的な提案など、中長期的な課題を視野に入れた活動も展開していきます。

私たちは、「プロボノ」(*1)として個人の立場で活動を進めます。同時に、政府・自治体、民間の企業・団体・NPOなどの組織の皆様、東北地方を中心とする被災地の皆様方と連携・協力を図り、少しでも多くの方々の役に立ち、一日でも早く復旧・復興活動が進むことを目指します。

この設立趣旨に賛同いただける皆様、多数のご参加とご協力を、心よりお願い申し上げます。

2011年5月24日
情報支援プロボノ・プラットフォーム
設立者 一同

*1 プロボノ

「公共善のために」を意味するラテン語 pro bono publico に由来する言葉で、専門的な知識・経験・技能・資源を有する人々が、それらを活かして社会貢献するボランティア活動を指します。